

# 令和3年度 第1回 伊豆市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和3年7月20日（火）午後3時00分～

場 所：修善寺総合会館 2階大研修室

出席者：委員18名（欠席2名）

アドバイザー1名、他3名、事務局4名

## 1 開会挨拶

### <会長挨拶>

伊豆市ではワクチン接種が比較的進んでおり、9月には、希望する方全員への接種が終える予定である。9月末以降は、ある程度の経済を回せると考えている。先日、熱海市の災害があり、短時間であるが市長激励を行ってきた。今回は伊豆山のみであったが、南海トラフが起きた場合、伊豆半島の全域であるような災害が起きる。その際、自衛隊はあの規模での支援は厳しい。そのような状況である。

さて、本会議で扱う地域公共交通について、高齢化率が40%を超えており、いずれ50%を超える。また、出生数もいつ100をきるか、という状況である。長期的な視点で、現行の制度を超えて、どのような対策ができるか、活発に議論いただきたい。

### <アドバイザー>

公共交通については、中期課題、長期課題、いろいろある。計画の見直しを行う中で、これらについて議論いただきたい。

## 2 議事

### （1）地域公共交通会議の役割・市の公共交通の現状について

#### <資料説明>

- ・事務局より資料1、資料2について説明

#### <質疑応答>

- ・特になし

### （2）【協議】運行に係わる協議事項について

#### ①中伊豆線の退出意向について

#### <資料説明>

- ・事務局、伊豆箱根バスより資料3について説明

#### <質疑応答>

委員：路線退出の申し出と言うことで、退出の時期はいつか。

委員：2022年3月末で申請している。

委員：今年の3月に退出の申し出を出して、現在、7月であるが、その間に、地域住民への説明等は行っているか。

事務局：地域住民への説明は行っていないが、中伊豆の区長会での説明は行っている。

委員：区長会での意見はあったか。

事務局：小中学生の通学、今後、中学校再編を予定する中、通学の足について心配する声が上がっている。

委員：半年後の退出に向けて、現段階で利用者や地域住民が知らないのは問題かと思う。それについてどうお考えか。

事務局：退出後の運行については、可能な限り、現行ダイヤを維持したうえで、市自主運行バス等の代替手法を検討していきたいと考えている。これらが決定後、地域住民や利用者に対し、説明を行っていきたい。

委員：昨晚、八岳地区の地域づくり協議会が開催されており、この件については活発な意見交換がされている。ぜひその内容を確認いただきたい。

会長：中伊豆線については、平成31年4月に減便を行った際も、地域への説明を行っており、その際の意見として、大人は使っていないが、子供の通学の足は確保してほしいというものであった。今回、伊豆箱根バスの路線は退出となるが、代替方法について担当課において検討しているため、ご理解いただきたい。

他に意見はないか。無ければ協議事項のため、本案について意義のない方は、挙手をお願いしたい。

### **【賛成多数で可決】**

会長：賛成多数ということで、事務局では引き続き、代替方法の検討を進めていただきたい。

## **(3) 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画推進事業について**

### **①令和2年度事業評価・令和3年度以降の事業計画について**

#### **<資料説明>**

- ・事務局より資料1、資料2について説明

#### **<質疑応答>**

- ・特になし

### **②伊豆市生活交通ネットワーク形成計画の改定について**

#### **<資料説明>**

- ・事務局より資料5、資料6について説明

#### **<質疑応答>**

委員：資料5の基本方針2の目標2-1は、現行を維持するか。コロナ前と比較して2~3割減となっており、現在の目標は現実的ではないと考える。達成できない目標を設定することは好ましくない。また、基本方針3の目標3-1については、公共交通を利用する目的など把握しながら、検討いただきたい。それを踏まえ、アンケート調査票の項目として、加えたらよいと思う項目として、公共交通を利用しない理由を把握したほうがよい。また、問8、問9については、路線バスやコミュニティバス以外の手段を見据えての設問と想定するが、いきなり見ても、理解ができないと思われる。前段である程度の説明があると、理解できると思うので、検討いただきたい。

事務局：目標2については、現行の目標が実情に合わないため、現在から最終年までの比率と

して修正を行う予定である。

アンケート調査について、公共交通を利用しない理由は大切な項目であるため、追加する方向で検討したい。また、参考事例は、運輸支局様のご協力もいただきながら、資料を検討したい。

委員：アンケート調査について、8月から10月にかけて、無作為に抽出して実施とあるが、小学校、中学校、高校生など幅広く行うべきではないか。無作為で抽出するのではなく、他の方法もあるのではないか。

事務局：今回のアンケートは、満18歳以上の方を対象に、特に親御さんの意見を把握したいと考えている。また、市では学校再編に合わせて他の部署でも調査を実施しているため、これを活用したい。

委員：親御さんについては、新中学校の移転に合わせて、様々な形で意見を伺っている。こちらの調査を今後も継続予定である。

委員：高齢者へのアプローチはどう考えているか。

事務局：年代に関わらず幅広く抽出し、意見を収集したい。

アドバイザー：アンケート調査の中で、市で行っている様々な支援策を利用しているか、利用している方の意見はなにか、を聞いてほしい。使ってほしいけど使っていない方へのアプローチが必要だが、無作為抽出にすると、そこがとれるか疑問である。問8、9については、駅に近い方などは、聞かれても困る。地域で設問を変えるなどの措置はとれないか。

計画内容の変更について、基本方針3の乗らないとなくなる、という意識が非常に重要であるが、それをどう意識づけしていくが難しい。また、数年前に話題提供したが、免許を返納してから公共交通の利用を始めるのは難しい。免許返納する前にアプローチができないか。

委員：遠州鉄道の取組みとして、割高ではあるが、家族誰でも使えるフリーパスがある。利用回数を増やす、という視点では、サブスクリプションや定額パスなどの手法も考えられる。

アドバイザー：計画の改定、アンケート調査については、本日の意見を踏まえ、事務局で検討いただき、実施いただきたい。計画の改定内容については、次回の会議で協議を行う予定である。

#### <事務局>

- ・次回会議は12月を予定し、次年度運行の協議、計画内容の協議を予定している。

以 上